

平成 15（2003）年度の報告

1. 子ども読書ファシリテーター講座

目的：ボランティアどうしのネットワークや学校や図書館等との連携を広げるための方法等をグループワーク等をとおして学び、地域でのさまざまな読書活動の充実に活かす。

対象：学校や図書館等で活動しているボランティア

募集人数：各回 15 名（年間 4 5 名）（加えて図書館職員が参加）

受講人数：62 人

○ 第 1 期 （於：大阪府立国際児童文学館）

回	開催日時	講座内容	講師
1	6月26日(木) 10時～16時	「すべての子どもたちが本に親しめる環境づくり」	大阪府立中央図書館 脇谷邦子
		ワークショップ「一冊の本を選ぶ難しさと楽しさ」 ～本を選ぶ～	(財)大阪国際児童文学館 土居安子
		「地域のネットワークの力による子どもの読書活動の推進」	豊中市立岡町図書館 谷垣笑子
2	7月10日(木) 10時～16時	「子どもの読書をコーディネートしよう」	大阪大学 渥美公秀
		「本を介したコミュニティづくり」 ～地域コーディネーターの実践から～	熊取町文庫連絡協議会 森崎シヅ子
		ワークショップ：「子どもの読書活動を活性化するために」 ～ファシリテートの技術を企画にいかす～	
3	7月17日(木) 10時～12時	ワークショップ 「私たちが今できること」 ～子どもの読書活動の今とこれから～	

<主な感想>

- ・ 他市の子どもの読書活動状況を把握できて、自分たちのこれからの活動の参考になった。
- ・ 日ごろは他市との交流がなく、他市の状況を生の声で聞く機会がないので、この講座を通して連帯感を持つことができ、得るものが多かった。
- ・ 地域とのネットワークの大切さを改めて実感した。

○ 第 2 期 （於：堺市立中央図書館・堺市立泉ヶ丘図書館）

回	開催日時	講座内容	講師
1	10月17日(金) 10時～16時	「大阪府子ども読書活動推進計画策定にあたって」	大阪府教育委員会
		「学校との連携の中で『子どもの読書』を考える」	豊中子ども文庫連絡会 安達みのり
2	10月24日(金) 10時～16時	「子どもの読書をコーディネートしよう」	大阪大学 渥美公秀
		「乳幼児からはじまる地域の読書環境 ネットワークづくり」	熊取文庫連絡協議会 森崎シヅ子
		ワークショップ 子どもの読書活動を活性化するために ～ファシリテートの技術を企画にいかす～	

3	10月31日(金) 10時～16時	「地域のネットワークの力による子どもの読書活動の推進」	豊中市立岡町図書館 谷垣笑子
		ワークショップ 「私たちが今できること」 ～子どもの読書活動の今とこれから～	

<主な感想>

- ・ 公共図、文庫（市民）の方のそれぞれのお話しがきけてよかった。この講座で館長や行政の方とお話しできた。市民と行政、地域との連携をするのがファシリテーターのひとつの役割である。自分自身をもっと啓蒙していきたいと思いました。
- ・ 自市の活動を見直すきっかけとなりよかった。
- ・ 情報交換は自分にとって気づきがあり元気づけられた。
- ・ 講師の方のコメントがとても勉強になった。現場に持ち帰って何ができるか見直したい。ボランティアの方とも話し合ういい機会になった。（図書館員）

○ 第3期 （於：大阪府立中央図書館）

回	開催日時	講座内容	講師
1	1月9日(金) 10時～16時	「大阪府子ども読書活動推進計画策定にあたって」	大阪府教育委員会
		「子どもの読書をコーディネートしよう」	大阪大学 渥美公秀
2	1月23日(金) 10時～16時	「地域のネットワークの力による子どもの読書活動の推進」	豊中市立岡町図書館 谷垣笑子
		「学校との連携の中で『子どもの読書』を考える」	箕面子ども文庫連絡会 新井せい子
		ワークショップ 「子どもの読書活動を活性化するために」 ～ファシリテートの技術を企画にいかす～	
3	1月30日(金) 10時～17時	「乳幼児からはじまる地域の読書環境ネットワークづくり」	熊取文庫連絡協議会 森崎シヅ子
		ワークショップ 「私たちが今できること」 ～子どもの読書活動の今とこれから～	

<主な感想>

- ・ 他市のいろいろな状況がよくわかった。
- ・ 各図書館がどういうことをしているのかが具体的にわかってよかった。各講師の先生の話聞くことで何をすべきかが具体的に整理できた。
- ・ グループ討議の中でいろいろな話を整理しながら聞いたのがよかった。
- ・ 文庫だけでなく、他にも目を向ける視点をいただきました。
- ・ いろいろなところとつながりながら、子どもの育ちをトータルに見守っていきたいと思った。
- ・ 講師の方々の長年活動されてきたすごさを実感できたことがよかった。
- ・ 連携づくりは根強い働きかけと積み重ねが必要だとつくづく感じた。

2. おはなしスキルアップ講座

目的：絵本の選び方、おはなし会の企画のしかた、地域での活動のあり方について講座・ワークショップをとおして学び、おはなしボランティアとしてのスキルアップの機会とする。

対象：おはなしボランティア活動経験のある府民

募集人数：各回 40 名（年間 120 名）

受講人数：120 人

○ 第 1 期 （於：大阪府立国際児童文学館）

回	開催日	講座内容	講師
1	7月22日(火) 10時～12時30分 (すべての回)	「すべての子どもに本の楽しさを」	大阪府立中央図書館 脇谷邦子 視覚障害児のための わんぱく文庫 福山恭子
2	7月25日(金)	「絵本の選び方からはじまるおはなしの世界」	(財)大阪国際児童文学館 土居安子
3	7月29日(火)	「絵本の物語世界を共有するために」	豊中市子ども文庫連絡会 安達みのり
4	8月1日(金)	「おはなし会のさまざまなプログラムにトライ！」	豊中市立岡町図書館 中田千絵 平安女学院短期大学 金子真理
5	8月8日(金)	「実践！おはなし会のプログラム」	

<主な感想>

- ・ 本の内容をしっかりと自分のものにして表現すること、そのとき目の前にいる子どもと瞬時にしてなるべく近い距離に心をつなげることが大切で、それ以外にこうあるべきというマニュアルはないと感じた。もっと自分の本の世界を広げて子どもたちとその世界を共有したい。
- ・ 実際にグループ発表ができたことがよかった。いろいろなアドバイスが参考になった。
- ・ 基本から応用まで学べた。基本の大切さを感じた。
- ・ いろいろな絵本を読むスタイルが見られてよかった。他のグループの活動がわかった。
- ・ 図書館員、教師との連携の大切さを知った。
- ・ 活動記録をつけることの大切さを知った。

○ 第 2 期 （於：熊取町立熊取図書館・熊取公民館）

回	開催日	講座内容	講師
1	11月7日(金) 10時～12時30分 (1～4回目)	「ボランティアとは」	大阪ボランティア協会
2	11月14日(金)	「すべての子どもに本の楽しさを」 「絵本の選び方からはじまるおはなしの世界」	(財)大阪国際児童文学館 土居安子 視覚障害児のための わんぱく文庫 福山恭子
3	11月21日(金)	「絵本の物語世界を共有するために」	熊取文庫連絡協議会 秋本美津
4	11月28日(金)	「プログラムのたて方」	熊取文庫連絡協議会 秋本美津

5	12月5日(金) 10時～13時	「実践！おはなし会のプログラム」
---	----------------------------	-------------------------

＜主な感想＞

- ・ 選書の大切さを教えてもらった。他の人、団体が違うやり方をされているのがわかった。他の人の読みを聞いて自ら反省し、いろいろと考えることができた。おはなしを届ける姿勢が自分たちの考えている方向でよかったと再認識できた。
- ・ 形式が新鮮でよい。発見、感動がありました。先生方のアドバイスは、ことばは厳しいけれど、その通りだと思いました。
- ・ 他市の方々とのコミュニケーションがとれたことがよかったです。選書が大事だということをつくづく思いました。
- ・ ボランティアとは、という基本を改めて学ばせていただいた。選書の大切さ、プログラム作りの大切さ、仲間を通じて学びあうことの大切さを痛感した。
- ・ 会の仲間に今回のことを伝え、自主学習に生かします。

○ 第3期 （於：松原市民図書館）

回	開催日	講座内容	講師
1	2月6日(金) 10時～12時30分	「絵本を選ぶ」 ～子どもの集団に本を読むということ～	(財)大阪国際児童文学館 土居安子
2	2月13日(金) 10時～12時30分	「すべての子どもに本の楽しさを」 ～おはなしボランティア活動を行うために～	豊中市子ども文庫連絡会 安達みのり 視覚障害児のためのわんぱく文庫 福山恭子
3	2月20日(金) 10時～12時30分	「絵本の物語世界を共有するために」 ～地域での活動に向けて～	熊取文庫連絡協議会 秋本美津
4	2月27日(金) 10時～12時30分	「おはなし会のプログラムをたてる」	熊取文庫連絡協議会 秋本美津
5	3月5日(金) 10時～13時	「実践！おはなし会のプログラム」 ～企画立案したプログラムを発表し、受講者相互の意見交換を行う～	

＜主な感想＞

- ・ 本の選び方、読み方、ページのめくり方、プログラムの立て方など、もっともっと勉強して少しでもよいものを届けられるようになろうと思いました。
- ・ ふだんは聞き手にまわることがないので、聞くことがどういうことかを実感することができました。これからは聞かされている子どもの立場になれそうです。
- ・ ボランティアについて疑問がありましたが、わかってよかったです。新たな気持ちで活動できます。今回の講座を一つ一つ自分で消化していくことが今後の私の課題です。時間がたつのが早かった。学ぶことが多かったです。

3. 全体交流会 （於：ホテルアウィーナ大阪）

平成16年 3月18日(金) 13時30分～17時	講演会 「子どもの本のふしぎ」	児童文学者 清水真砂子
	全体交流会	

講演会「子どもの本のふしぎ」では講師の清水真砂子さんが、多くの他者に会えるという「物語」の持つ力についてお話くださいました。その後、ファシリテータ講座、おはなしスキルアップ講座の修了者、講座講師、図書館員などが交流を深め、今後の活動のためのネットワークを広げました。

平成 16 (2004) 年度の報告

1. 子ども読書ファシリテーター講座

目的：ボランティアどうしのネットワークや学校や図書館等との連携を広げるための方法等をグループワーク等をとおして学び、地域でのさまざまな読書活動の充実に活かす。

対象：学校や図書館等で活動しているボランティア

募集人数：各回 15 名（年間 4 5 名）（加えて図書館職員が参加）

受講人数：65 人

○第 1 期 （於：八尾市立八尾図書館）

回	日時	講義内容	講師
1	5月28日(金) 10時～16時	「子どもたちと本をつなぐ活動の推進」	大阪府教育委員会 藤田豊首席社教主事
		「子どもへの読書サービスの原点-地域とのつながりの中で-」	大阪市立東淀川図書館 矢野明子
2	6月4日(金) 10時～16時	「子どもの読書をコーディネートしよう」	大阪大学助教授 渥美公秀
		「乳幼児期からはじまる地域の読書環境 ネットワークづくり」	熊取文庫連絡協議会 森崎シヅ子
		ワークショップ：「子どもの読書活動を活性化するために」 ～ファシリテートの技術を企画にいかす～ コーディネーター（財）大阪国際児童文学館主任専門員	
3	6月18日(金) 10時～17時	「学校との連携のなかで『子どもの読書』を考える」	豊中子ども文庫連絡会 安達みのり
		「私たちが今できること」～子どもの読書活動の今とこれから～ コーディネーター（財）大阪国際児童文学館主任専門員	
4	7月15日(木) 14時～16時	地域交流会（この回のみ枚方市立香里ヶ丘図書館） 「おはなしスキルアップ講座」修了者昨年度の講座修了者や講座講師との交流会	

<主な感想>

- ・仲間とは言うべきことをきちんと話し合っていくという事が大切という話が印象的だった。
- ・私達だけが悩んでいるのではないと分かった。
- ・子どもの読書について突っ込んで考える必要性を学んだ。
- ・図書館の方の考え方や意見が聞けてよかった。
- ・学校と教育委員会と公共図書館との連携が如何に難しく大切かということが分かった。
- ・自分は何をすべきかを意識しながら行動していきたいと思えた。
- ・ボランティアの在り方について考え直すことができた。

○第 2 期 （於：泉佐野市立中央図書館）

回	日時	講義内容	講師
1	10月7日(木) 10時～16時	「子どもたちと本をつなぐ活動の推進」	大阪府教育委員会 岡田正次主任社教主事
		「子どもへの読書サービスの原点-地域とのつながりの中で-」	大阪市立東淀川図書館 矢野明子
2	10月14日(木) 10時～16時	「乳幼児期からはじまる地域の読書環境 ネットワークづくり」	熊取文庫連絡協議会 森崎シヅ子
		「学校との連携のなかで『子どもの読書』を考える」	豊中子ども文庫連絡会 安達みのり

		ワークショップ：「子どもの読書活動を活性化するために」 ～ファシリテートの技術を企画にいかす～	(財) 大阪国際児童 文学館主任専門員
3	10月21日(木) 10時～17時	「私たちが今できること」 ～子どもの読書活動の今とこれから～ コーディネーター (財) 大阪国際児童文学館主任専門員	
		「子どもの読書をコーディネートしよう」	大阪大学助教授 渥美公秀
		「私たちが今できること」 ～子どもの読書活動の今とこれから～ コーディネーター (財) 大阪国際児童文学館主任専門員	
4	12月15日(金) 14時～16時	地域交流会（この回のみ岸和田市立図書館） 「おはなしスキルアップ講座」修了者、昨年度の講座修了者や講座講師との交流会	

<主な感想>

- ・ボランティアとは何かという大きな視点から考える機会ができてよかった。
- ・他所の地域（先進地域）の方の話は大変参考になった。
- ・受講内容が全て役立った。もっと図書館とのコミュニケーションをとりたいと思う
- ・講師や他市からの参加者の話を聞いて図書館への関わりが積極的なので素晴らしいと思った
- ・まず自分達の役割を考えることが必要だと思った。
- ・楽しくボランティアやコミュニケーションのことが分かった。

○第3期（於：茨木市立中央図書館）

回	日時	講義内容	講師
1	平成17年 1月14日(金) 10時15分 ～16時	「子どもへの読書サービスの原点-地域とのつながりの中で-」	大阪市立東淀川図書館 矢野明子
		「子どもたちと本をつなぐ活動の推進」	大阪府教育委員会 藤田豊首席社教主事
2	平成17年 1月21日(金) 10時15分 ～16時	「子どもの読書をコーディネートしよう」	大阪ボランティア協会 事務局次長 名賀 亨
		「乳幼児期からはじまる地域の読書環境 ネットワークづくり」	熊取文庫連絡協議会 森崎シヅ子
		ワークショップ：「子どもの読書活動を活性化するために」 ～ファシリテートの技術を企画にいかす～ コーディネーター (財) 大阪国際児童文学館主任専門員	
3	平成17年 1月27日(金) 10時15分 ～16時	「学校との連携のなかで『子どもの読書』を考える」	豊中子ども文庫連絡会 安達みのり
		「私たちが今できること」 ～子どもの読書活動の今とこれから～ コーディネーター (財) 大阪国際児童文学館主任専門員	
4	平成17年 3月11日(金) 14時～16時	地域交流会（この回のみ箕面市立中央図書館） 「おはなしスキルアップ講座」修了者や昨年度の講座修了者や講座講師との交流会	

<主な感想>

- ・大切なのは本を届けるのであって技術ではないということがわかった。
- ・今までボランティアとは何か曖昧だった部分の解明ができて本当によかった。今後も現場での生の声が聞ける講座をして欲しいし、情報が欲しい。
- ・色んな情報が得られたことがよかった。研修する事の大切さを痛感した。
- ・図書館の存在の大切さ、ボランティアグループが組織として機能する事が大切だという事がわかった。
- ・現在、私たちの文庫の問題点に深くかかわる講義内容が多く、整理ができたように思います。ここで学んだことを文庫のほかのメンバーにも伝えてたいと思います。

2. おはなしスキルアップ講座

目的：絵本の選び方、おはなし会の企画のしかた、地域での活動のあり方について講座・ワークショップをとおして学び、おはなしボランティアとしてのスキルアップの機会とする。

対象：おはなしボランティア活動経験のある府民

募集人数：各回 40 名（年間 120 名）

受講人数：129 人

○第 1 期 （於：枚方市立香里ヶ丘図書館）

回	開催日	講座内容	講師
1	6月17日(木) 10時～12時30分 (すべての回)	「すべての子どもに本の楽しさを」 ～おはなしボランティア活動を行うために～	箕面市子ども文庫連絡会 新井せい子 視覚障害児のためのわんぱく文庫 福山恭子
2	6月24日(木)	「絵本を選ぶ」 ～集団の子どもに本を読むということ～	(財)大阪国際児童文学館 土居安子
3	7月1日(木)	「絵本の物語世界を共有するために」 ～地域での活動に向けて～	熊取文庫連絡協議会 秋本美津
4	7月8日(木)	「おはなし会のプログラムをたてる」	熊取文庫連絡協議会 秋本美津
5	7月15日(木)	「実践！おはなし会のプログラム」 ～企画したプログラムを発表し、 受講者相互の意見交換を行う～	熊取文庫連絡協議会 秋本美津
6	7月15日(木) 14時～16時	地域交流会 「子ども読書ファシリテーター講座」修了者や昨年度修了者、講座講師との交流会	

<主な感想>

- ・選書、読み方、持ちかた、ページのめくりかた等、これからとても役立つことだった。
- ・選書の大切さをひしひしと感じた。
- ・いろんなグループの発表を見る事はとても勉強になった。
- ・今回学んだ事を現場に活かしていきたい
- ・本の組み合わせ方についても机上のものと、実際のものの両方を経験する事ができて勉強になった。
- ・グループで勉強会を続ける上での個々の心構え、何でも語り合う仲間作りが大切だと思った。
- ・発表を見て良いところ悪いところがよくわかり勉強になった。

○第 2 期 （於：岸和田市立図書館）

回	開催日	講座内容	講師
1	11月17日(金) 10時～12時30分 (すべての回)	「絵本を選ぶ」 ～集団の子どもに本を読むということ～	(財)大阪国際児童文学館 土居安子
2	11月19日(金)	「すべての子どもに本の楽しさを」 ～おはなしボランティア活動を行うために～	視覚障害児のためのわんぱく文庫 福山恭子 熊取文庫連絡協議会 秋本美津
3	11月26日(金)	「絵本の物語世界を共有するために」 ～地域での活動に向けて～	熊取文庫連絡協議会 秋本美津
4	12月10日(金)	「おはなし会のプログラムをたてる」	熊取文庫連絡協議会 秋本美津

5	12月17日(金)	「実践！おはなし会のプログラム」 ～企画したプログラムを発表し、 受講者相互の意見交換を行う～	熊取文庫連絡協議会 秋本美津
6	12月17日(金) 14時～16時	地域交流会 「子ども読書ファシリテーター講座」修了者や昨年度修了者、講座講師との交流会	

<主な感想>

- ・同じグループの中での交流が必要であると実感した。
- ・テーマや想いを掘り下げて考えることの楽しさを改めて感じた。
- ・やはり本をたくさん知らないといけないと思った。
- ・多くのアドバイザーの方々のアドバイスはとても深く、反省させられることが多かった。
- ・グループの方に恵まれ、刺激を受け、新たな本に出会うことができた。

○第3期 (於：箕面市立中央図書館)

回	開催日	講座内容	講師
1	平成17年 2月4日(金) 10時～12時30分 (すべての回)	「絵本を選ぶ」 ～集団の子どもに本を読むということ～	豊中市立蛍池図書館 北風泰子 豊中市立岡町図書館 須藤有美
2	平成17年 2月18日(金)	「すべての子どもに本の楽しさを」 ～おはなしボランティア活動を行うために～	視覚障害児のためのわんぱく文庫 福山恭子 熊取文庫連絡協議会 秋本美津
3	平成17年 2月25日(金)	「絵本の物語世界を共有するために」 ～地域での活動に向けて～	熊取文庫連絡協議会 秋本美津
4	平成17年 3月11日(金)	「おはなし会のプログラムをたてる」	熊取文庫連絡協議会 秋本美津
5	平成17年 3月11日(金) 14時～16時	地域交流会 「子ども読書ファシリテーター講座」修了者や昨年度修了者、講座講師との交流会	
6	平成17年 3月18日(金) 10時～12時	「実践！おはなし会のプログラム」 ～企画したプログラムを発表し、 受講者相互の意見交換を行う～ (この回のみホテルアウィーナ大阪)	熊取文庫連絡協議会 秋本美津

3. 全体交流会 (於：ホテルアウィーナ大阪)

平成17年 3月18日(金) 13時～16時30分	講演会 「わらべうたであそぼう」	音楽教室とんとんやかた主宰 近藤信子
	全体交流会	

講演会「わらべうたであそぼう」では、講師の近藤信子さんがわらべうたとは何か、という本質からその楽しさについて、ワークショップも交えてお話くださいました。その後、「ファシリテーター講座」「おはなしスキルアップ講座」の平成15年度と16年度の修了者、講座講師、図書館員などが交流を深め、今後の活動のためのネットワークを広げました。